

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中央アルプスの国立公園化を活用した地域振興事業
事業主体 (連絡先)	宮田村 (宮田村役場 産業振興推進室 商工観光係 85-5864)
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,589,304 円 (うち支援金 : 1,191,000 円)

#### 事業内容

中央アルプス国立公園指定の機会を活かした様々な事業を実施し情報発信することで、郷土愛の醸成と交流人口の増加による持続可能な地域づくりを目指した。実施した事業は次のとおり。

1. ライチョウ復活事業
2. ライチョウ観察事業
3. その他の記念事業



【写真集「感動 西駒ヶ岳」】

#### 【目標・ねらい】

中央アルプスの自然環境を保護し、住民等への国立公園の素晴らしさを伝えることで交流人口の増加を図る。

#### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

- ① ゼロだった駒ヶ岳周辺のライチョウ数が約 60 羽に復活した。
- ② 18 件の目撃や写真の情報が寄せられ、復活事業の計画策定に貢献できた。
- ③ ライチョウ講演会や濃ヶ池報告会への応募者が多数。また電話等での問い合わせが多く寄せられ、中央アルプスへの関心を高めることができた。

#### 事業効果

1. ライチョウ復活事業は、環境省の「ケージ保護」に住民等が参加する機会を作りメディア等による情報発信の強化を図り観光客等の大きな反応を得た。

2. ライチョウ観察事業は、住民等の集めたデータが次年度以降の復活事業に活かすことができ、郷土愛の醸成とライチョウ復活の可能性を高めた。

また環境省の専門官による講演会や、学校登山の中学生を対象に現地説明会を開催し、郷土愛を育むとともに駒ヶ岳の楽しい思い出づくりができた。

3. その他の記念事業で予定していた駒ヶ岳登山や地質講演会等は、新型コロナの影響により実施できなかったが、フォトコンテストには約 900 件の応募があり多くの関心と呼ぶとともに、貴重な写真データを得ることができた。

宮田高原で開催した山野草観察会では、公園内の貴重な植物の観察や自然保護の住民意識が向上した。

#### 今後の取り組み

1. 中央アルプスの貴重な自然環境の保護と情報発信を強化するために、巡視相談員を配置して整備工事や観光客への説明・案内を行う。また環境を保護するためのボランティアの育成を図る。
2. ライチョウ復活事業・観察事業を継続し、情報発信の強化と郷土愛の熟成を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある